



＜参考資料＞
合志楓の森小HPより
ダウンロードして
御活用ください。

HTTPS://FORMS.CLOUD.MICROSOFT/R/VSPRMSQZZC



＜事後アンケート＞
12月11日（金）〆切り

令和6・7年度 熊本県教育委員会指定「健康教育研究推進校」
熊本県学校保健会・熊本県PTA教育振興財団 委嘱

研究主題

自らの夢を叶えるために、心身ともに健やかで
自律的な行動ができる児童の育成

合志市立合志楓の森小学校

令和7年12月4日(木)

【日程】									
12:30	13:00	13:45	13:55	14:20	14:35	15:15	16:25	16:40	
受付	公開授業	移動	授業研究会	移動休憩	全体会	講演会	閉会		



カエデーモン



はかせ



メープリン



モリリン

学校教育目標

夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成



研究主題

自らの夢を叶えるために、心身ともに健やかで
自律的な行動ができる児童の育成

心の健康

体の健康

自律

(仮説1)

学校全体で支持的風土を醸成するとともに、健康に必要な正しい知識を身に付けさせることで必要感をもたせ、よりよい健康習慣を確立すれば心身ともに健やかになるであろう。

【視点1】健やかな心身の育成

- (1) 支持的風土の醸成
- (2) 学びの連続性を意識した授業実践等
- (3) 基本的生活習慣確立のための取組

(仮説2)

自分自身の状態を認知し、PDCAサイクルをくり返し行うことで、自律的な行動ができる児童を育成することができるであろう。

【視点2】自律的に行動できる児童の育成

- (1) 児童が主体的に企画・運営を行う活動
- (2) PDCAサイクルの取組

授業づくり部会

特別活動部会

環境づくり部会

人権教育部会

特別支援教育部会

・単元配列表

・健康パスポート

・YTK タイム

・各委員会活動

・目覚めチェック

・Let's 枫元気
もりもり☆カード

・たてわり人権
集会

・「あたりまえ習慣」

・支援学級3つの力

視点Iー(1) 支持的風土の醸成

教育活動全体を通しての取組

YTKタイムの実施

- 本校では児童に付けたい3つの力(Y:やりぬく力、T:伝える力、K:協働する力)を育むために、授業中や朝の会、昼休みなどに「YTKタイム」に取り組んでいる。
- 友達と協働して行うゲーム形式や、言葉を用いて発表・話し合いをする形式などがある。
- 学級では授業中や休み時間、学年では学年集会時に児童主体で取り組んでいる。学校全体では月に1回の「一斉YTKタイム」や児童集会で、企画委員会が計画して取り組んでいる。
- ペアやグループ、全体で協働し合うこと、自分の考えを伝えて相手の考えを聞くことなどを通して、互いを認め尊重し合う支持的風土の醸成につなげている。



YTKタイムの様子



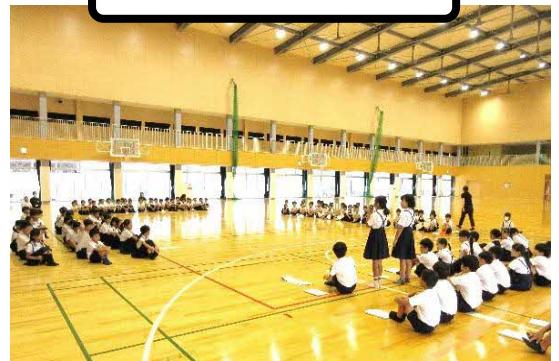
一斉YTKタイムを行う企画委員会

人権教育を通しての取組

たてわり人権集会の実施

- 互いの思いや課題を知り合い、人権教育について児童・教師が一緒に考えることで、安心して過ごせる合志楓の森小・中学校を目指していくことを共通理解している。その上で、本校の人権教育を進めている。
- 各クラスの人権学習の中では、自分を見つめ・語り、互いを認め合う場の設定をした。
- 発達段階を考慮し、小学校1年生から4年生のグループ、小学校5年生から中学生のグループに分けて実施した。高学年は、中学生の姿を見ることで、中学校生活への見通しがもてるようになした。
- たてわり人権集会では、各クラスで学習したことを発表したり、聞いたりすることで、学年を超えて互いの学習を知り合い、学びを深めた。
- 発表への返しをする際には、これまでの学びをふり返ったり、自分のくらしと重ねたりするような視点を与えた。
- 安心して発表することができるよう、相手を否定せず、自分と重ねて話を聞くことを呼びかけた。

たてわり人権集会の様子



2024(令和6)年度
合志楓の森小・中学校
たてわり人権集会
小5～中3部会 Cチーム



視点1-(2) 学びの連続性を意識した授業実践等

6年間を見通した授業づくり

単元配列表の作成

○健康教育に関する学びの連続性を意識するために、単元配列表を作成した。6年間を通した学びの視点をもつとともに、今学習している内容がどのように他の学年と関連しているのかを確認し、授業づくりを行う際の参考にした。

○「スクリーンタイムの調整に関すること」「適切な睡眠時間の確保に関すること」「その他、健康に関すること」の3つの視点について、関わりのある単元を記載している。



研究授業の様子

健康に関するその他の取組

講師招聘による健康に関する講演会の実施

○睡眠や運動など、生活習慣に関する基本的な知識を身に付けるために、児童生徒や職員、保護者向けに講演会を開いた。

健康に関する委員会の取組

○児童が睡眠や運動の大切さについて正しい知識を身に付けられるよう、保健委員会による「睡眠の大切さ」の発表や体育委員会による Let's 楓スポーツタイム(全校スポーツイベント)などの機会を設定した。



日本体育大学 野井教授による講話



睡眠の大切さを伝える保健委員会

自立活動の学びをつなげていく取組

自己肯定感を高めるための自立活動の取組

○発達段階に応じて、自分や友達を見つめさせ、自分のいいところ、直した方がいいところを知る取組をしている。
○互いを知り合うために、朝の会、スピーチ、自分クイズ、すごろくトーク、信頼貯金のつぼなどに取り組んでいる。
○高学年では、中学校への進学を見据えて、自分のことを知り、これからどんな力を付けたらいいのかを考える取組をしている。



特別支援学級「3つの力」を意識した取組

○「あいさつ」「相談する力を持つ」「相手を意識した言動ができる(マナー)」を、日常的に意識させるようにしている。
○困ったとき、何も言えずに困ったままにならないよう、解決策を見いだす経験を積ませていきたいと考えている。
○マナーの面では、言葉使いや気遣いができることで、コミュニケーション力が上がり、関係性がよくなることで、楽しいことが増え自己肯定感が高まっていくように取り組んでいる。



互いのいいところを伝え合う場面

信頼貯金のつぼ

わかば・もみじ学級 3つの力
(1)あいさつ
(2)相談する力を持つ
(3)相手を意識した言動ができる
(マナー)

特別支援学級「3つの力」

視点 1-(3) 基本的生活習慣確立のための取組

生活習慣確立を促す取組

目覚めチェックの実施

- 健康観察時にその日の目覚めの様子について「とてもすっきり」「すっきり」「ふつう」「まだねむい、ぼーっとする」の4択で回答するようにした。
- 同時に健康に関するクイズやメディアコントロールを呼びかけ、生活習慣を見直す機会としている。

体を動かす手立て

- 雨天時や熱中症対策を考慮し、場所や道具を工夫して実施している。
- 「走らず、ゆっくり、体を動かす時間」というルールのもと、児童自ら工夫をして活動している。

家庭との連携

- 学級懇談会の時間を利用して、保護者向けに養護教諭による講話(オンライン)を行った。
- 児童へ指導する際に使用した言葉や内容を説明することにより、学校と家庭で同じように指導・声かけができるようにした。

月曜日だからすっきり起きられなかった。

(6)年(3)組のみなさん
今日はすっきり起きることができましたか?
今日は元気アップ大作戦で元気に過ごしましょう!

今日はプールがあるからすっきり目覚めた。



日付け	とてもすっきり	すっきり	ふつう	まだねむいぼーっとする
6月18日(水)	9	12	3	0
6月19日(木)	12	8	10	2
6月20日(金)	6	7	13	0
7月1日(木)	3	13	13	2
7月14日(月)	0	10	9	0
7月15日(火)	1	0	0	1



懇談会の様子

遊びの様子



将来を見据えた「基本的生活習慣」を育てる取組

特別支援学級の「あたりまえ習慣」を育てる取組

- 各学級で、児童の実態に合わせて基本的生活習慣のチェックをしている。「あたりまえ習慣」は、将来を見据えて児童に身に付けさせたい生活習慣を集めたもので、あいさつ、身支度、体の清潔、安全面を意識させるものである。
- 「あたりまえ習慣」の中から、児童と話し合い、今年度の目標を1つ決めて、個別の指導計画の健康面の欄に明記し、継続して取り組んでいる。
- 「あたりまえ習慣」に継続して取り組むことで、意識付けができ、自分の課題に気付くことができるようしている。

ハンカチ、ティッシュを持つてくるようになったよ。

「あたりまえ習慣 早見表」

わがば学級「あたりまえ習慣 早見表」		
ねん ()年()歳	くみ なまえ	くわん
①あさくに朝までおねむうございます。おねむい。	②あさく、顔を洗うた。	③歯みがきをして、学校にきた。
○△×	○△×	○△×
④ハンカチ、ティッシュをもってきました。	⑤おふろ、きれいに体やかみの毛を洗った。	⑥なる前に歯をかみます。おねみせさい。が、歯丸い。
○△×	○△×	○△×
⑦つめの手エッタ! つめいたら切ろう。	どうでしたか? △や×のところを書いていこ。	つめを切ってください。
○△×	○△×	○△×

木曜日はわすれやすいな。

つめを切ってください。

視点2-（1）児童が主体的に企画・運営を行う活動

委員会活動の取組

リーダーの育成

- 3月に次年度の委員長を決め、小中合同で春休みにリーダー研修を行った。研修の中で中学生の姿からリーダーとしての心構えを学んだ。
- 毎月の委員会活動前に委員長会議を設け、その月の活動方針や具体的な内容について確認し、活動当日につなげている。
- 児童集会での発表内容を児童が考えている。学校全体に自分たちの委員会活動の何を知ってほしいか、どういった活動に取り組んでほしいかといった内容とその伝え方を工夫し、発表を行っている。

自学コンクール

- 応募用紙を用意し、児童が自由に自分の自主学習を応募することができるようにして、家庭学習の習慣化と充実を図っている。
- 学習掲示委員会の児童が審査し、賞状を渡している。
- コンクールで選ばれた自主学習は、ロビーに掲示し自由に見ることができるようにした。児童は、同学年・他学年の様々な学習の例を見て、自分の学習の参考にしている。



リーダー研修の様子

自分たちが学校を動かすという実感がわいた。



児童集会での発表の様子



自学コンクールの様子

授業みたいにまとめるといいね。

お兄ちゃん、お姉ちゃんすごいな。

児童の主体性を引き出す取組

ランチミーティングの開催

- 各委員会の委員長とPTA役員の方と校長のランチミーティングを行った。
- 「これまでに取り組んだこと」「今後取り組みたいこと」「PTAとコラボしたいこと」の3つについてスライドを作成して発表した。
- 「掲示板を増やしてほしい」や「PTA役員さんと鬼ごっこがしたい」などのアイディアがあり、PTAの方も児童の願いが実現できるよう尽力してくださっている。



ランチミーティングの様子

PTA役員さんと鬼ごっこがしたい!

視点2-(2) PDCAサイクルの取組

健康パスポートの作成と活用

学校でのPDCA

- 児童の自律を促すために、目標に対する自分の学びをふり返ることができる健康パスポートを作成した。
- 児童が見通しをもって学べるように、健康教育に関する単元を事前に記載した。
- 初めに立てた目標を達成するために、各単元で身に付けたことや学んだことをふり返り、3年生以上は、その学びを自分の生活にどのように生かすかを記入していった。
- シートの最後には、めあてに対するふり返りをする欄を設け、それぞれの単元での学びを生活にどのように生かせたかを考えられるようにした。

わたしのめあて	()月()日
自分が子どもになるとするためにどのよりにしたらいいのかをよく知る。	
【体育(保健)】: 単元名 病気の予防	()月()日
ふりかえり 病気についてよく知れました。帰ってきたらすくらをすくらとしているところをかかしていきたいとおもいます。	
【家庭科】: 単元名 見つめてみよう生活時間	()月()日
ふりかえり 自分は最初せんせん生活リズムが整っていなかったのでちゃんと学習してどうしたらいいかをしました。今は前よりもとててやの時間をへらせてよかったです。時間も増やせてよかったです。でも家や友との時間の時間も増やしていきたいです。かわいいね!	

○スクリーンタイムについてわかったことやかんがえたこと
○すいみんについてわかったことやかんがえたこと
○自分のけんこうのためにかんがえたこと

「最初ぜんぜん生活リズムが整っていなかったので、学習をしてどうしたらいいのかを知れました。～すいみん時間を増やせてよかったです。」※ふり返りを一部抜粋

Let's 楓 元気もりもり☆カードの活用

家庭でのPDCA

- 生活習慣の確立のために、自分の生活をチェックすることができるカードを作成した。
- 連休や長期休業明けに実施期間を設けることで、乱れがちな生活リズムを自律的に戻すのを促す手立てとした。
- 全校集会等で前回までの課題や意識してほしいことを説明し、チェック期間の初めに自分の目標を立てた。期間の終わりにふり返りを記入し、チェック期間後も意識して生活するようにしている。
- チェック期間中には、保護者アンケートを実施し、家庭への啓発と連携を図っている。

P 目標・とくにがんばることを記入する。

「ねる時刻がおそくなっているので、早くねる。」

Let's 楓 元気もりもり☆カード							
<目標・とくにがんばること>							
ねる時刻をりがおもくなっているので早くねる。							
内容(ないよう)	8日(木)	9日(金)	10日(土)	11日(日)	12日(月)	13日(火)	14日(水)
1 起きた時刻	6時40分	6時40分	6時30分	6時30分	6時45分	6時40分	6時35分
2 朝ごはんを食べた	○か×	○	○	○	○	○	○
3 太陽の光を浴びた	○か×	○	○	○	○	○	○
D して読んだ ビスキンシップ	○か×	X	X	X	X	○	○
6 夜9時からは、メディア(ゲーム・スマホ・タブレット等)をお家のへ渡した	○か×	○	X	X	○	○	×
7 寝る30分前から部屋を暗くした	○か×	○	○	○	○	○	○
8 着た時刻	9時40分	9時40分	9時25分	9時30分	9時30分	9時30分	9時35分
9 眠眠時間	9 時間	8 時間	8 時間	8 時間	9 時間	8 時間	9 時間
<ふりかえり>							
ねる時刻をりがいつもより早くねる。そのためから早くねたいです。							

D

6

7

8

9

C

A

ふりかえりを記入する。

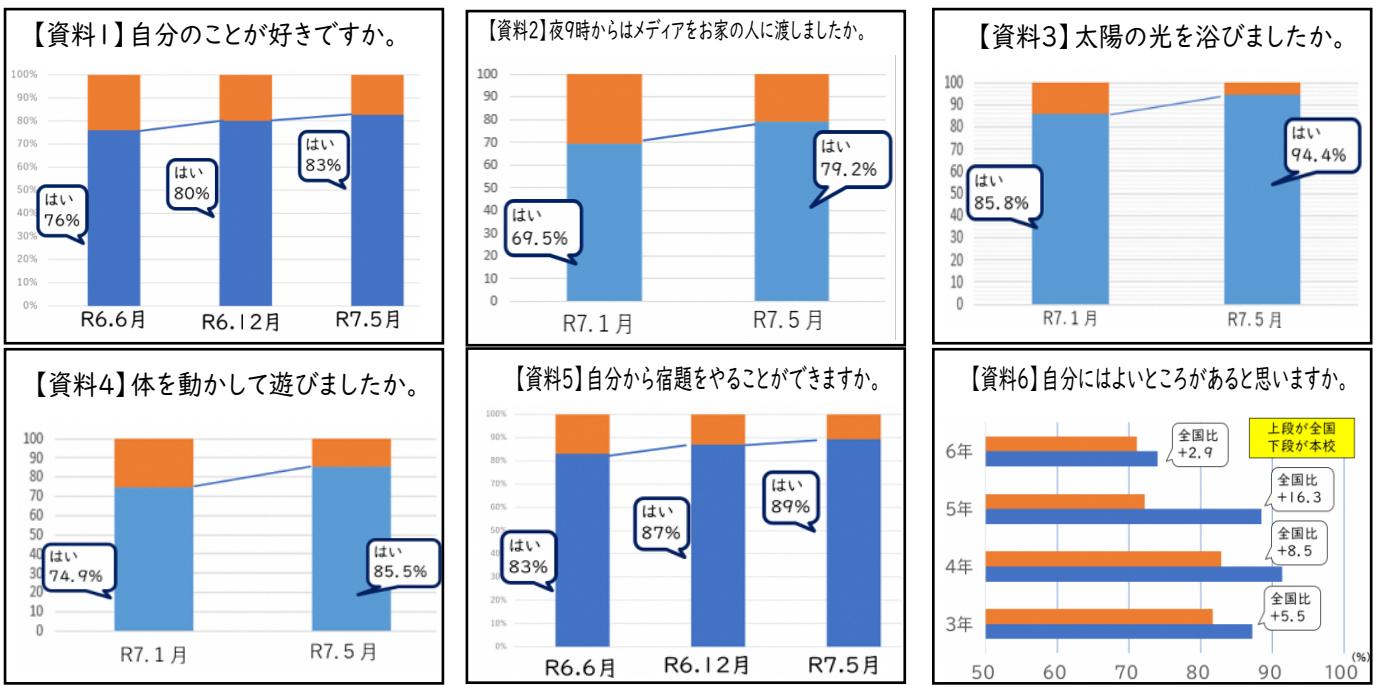
「ねる時刻がいつもより早くなったので、これからも早くねたいです。」

A

A

成果

自己肯定感アンケート、Let's 楓 元気もりもり☆カード、標準学力調査 i-check (R7.4月実施 3~6年) の結果より



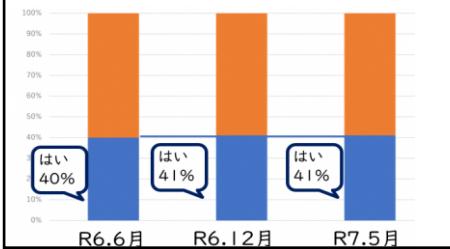
○支持的風土の醸成を図る取組を継続して行っていることで自己肯定感が高まった。「自分にはよいところがある。」と回答した児童の割合が、アンケートを実施した全学年で全国平均を上回っている。【資料1, 6】

○Let's 楓元気もりもり☆カードの取組を通して基本的生活習慣が確立しつつある。令和7年1月と比較すると、「太陽の光を浴びた。」や「体を動かした。」と答えている児童がそれぞれ10%ほど増加している。【資料3, 4】

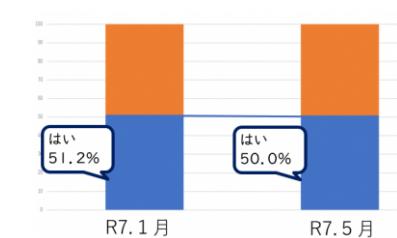
○児童が主体的に活動する場を多く設定したり、PDCA サイクルの取組を行ったりすることで、やらなければならぬことから逃げず、自ら考えてよりよく行動しようとする児童が増えた。アンケート調査において「夜9時からはメディアをお家の人に渡した」や、「自分から宿題をやることができます。」と答えた児童の割合がいずれも高まっている。【資料2, 5】

課題

【資料7】授業中に間違いを気にせず手を挙げることができますか。



【資料8】就寝時刻を守っていますか。



▲「授業中に間違いを気にせず手を挙げることができます」という項目では肯定的な回答をした児童の割合が約40%にとどまっている。今後も YTK タイム等を通して支持的風土の醸成を促したり、ペア活動を取り入れたりするなど継続的な取組を進めていく。【資料7】

▲合志楓の森中学校区「育ちのものさし」の基準と比較して、就寝時刻が遅い児童が約半数いる。自分の生活時間の使い方をふり返る PDCA サイクルの取組をさらに充実させたり、必要感をもたせるための授業等の工夫をしたりして健康習慣の確立を促す必要がある。【資料8】